

本愛分会「青年会の集い」開催

教えの実践を学び、絆を深める

9月の月次祭終了後、本愛分会による「青年会の集い」が開催され、48名の青年会員が参加した。神殿講話には青年会本部副委員長・前川治輝先生が登壇（以下に講話要旨）。神殿講話後は会食が行われ、青年会員同士で絆を深める姿が見られた。

小雨がちらつき過ぎやすい気温となった9月13日、総勢48名の青年会員が一堂に会し、「心を一つに、未来を切り拓く」をテーマに「青年会の集い」が開催された。

神殿講話では、青年会本部副委員長・前川治輝先生が「陽気ぐらしへの一歩―教えを日常へ」と題し、自身の経験談などを交え、教えを日常に活かす大切さと、天理教青年会の基本方針である「心を澄ます毎日。ほこり減らし、誠を増やす」について語られた。

講話後、華洲館3階にて青年会員たちによる会食が行われ、和やかな雰囲気の中で互いに交流を深める貴重な機会となった。



発行
天理教本愛大教会

〒453-0821
名古屋市中村区大宮町1-60
TEL (052) 461-4326
MAIL mail@hon-ai.org
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広報部

年間活動目標
今日を陽気に。
つながる、
つなげる。

前川治輝先生

神殿講話要旨

この本愛大教会で生まれ育ち、先生方や住み込みの方々、信者さん方から多くのことを学ばせていただきました。そして、両親からはおつとめとおさづけの大切さを常々教えてもらいました。

私たち夫婦はなかなか子宝に恵まれず、結婚3年目に長女、7年目で次の子を授かりました。その2度目

の妊娠初期のとき、妻に出血があり、胎児が危険な状態になってしまったのです。急いでそのことを実家の母（大教会前会長夫人）に相談すると、「をびや許しを戴くまでこれから毎日おさづけをして、教祖にしっかりとたれなさい」と諭されました。

そして、その足で教祖殿に行き、心定めをさせていただくと、不思議なことにお腹の赤ちゃんは深刻な状態を脱し、更に双子だということも判明しました。諦めかけた命に加え、もう一つの命を頂くという不思議なご守護を見せていただいたのです。

（続きはYoutubeで）

続きは YouTube
本愛大教会
公式チャンネルへ

本愛分会
青年会の集い



青年会本部副委員長
前川 治輝 先生



※上記のQRコードを読み取って、ご覧ください。
本愛誌の読者限定で公開している動画ですので、チャンネル内の動画一覧からはご覧いただけません。

10月のこよみ

入社祭

1日 午前10時

よふき会例会

2日 午前10時

鼓笛隊練習日

5日 午前10時

秋季大祭

13日 午前10時

青年会例会

13日 午前10時

布教実修所

14日 午前10時

むつみ会例会

16日 午前10時

こども食堂MOGU

17日 午後5時

名古屋まつり

18日～19日

（本愛鼓笛隊出演）

女子青年例会

19日 午前10時

婦人会例会

20日 午前10時

第99回青年会総会

25日 午後1時

本部秋季大祭

26日 午前8時

みちのだい育み塾

旭和世 先生

9月20日に行われた婦人会本愛支部の「みちのだい育み塾」には、旭和世先生（御空委員部長）が登壇された（写真）。講話の一部を要約して紹介する（全文は下記QRコードから動画でご覧ください）。

私の母は、本今村分教会の初代会長である山田辰次郎の次女として生まれました。現在、大阪府内の船場大教会部属の教会で今も元気に暮らしています。

母は神一条で通ってきた人で、「私は本愛で育てていただいていたに幸せだった」と事あるごとに口にしております。母が子供時代大教会の新年の行事でもら



ったおみくじで「人だすけが私の天職」という言葉を聞いたそうです。母はその言葉をずっと大切にし、まさにその言葉通りに過ごしてきました。私はそんな母親の姿を見て育ち、神様のお話やどうすれば人になすかってもらえるのかということ、間近に見聞きさせてもらっていました。

そうしたことも祖父母である本今村分教会の初代会長夫妻が運命を変えていたのだいた日があつてこそだと感謝しております。

祖父が書き残した自叙伝の中に、たすけていただいた喜びから、「恩に報いて死のう」と人生の羅針盤を180度変え、「家族全員の命を三

宝に乗せて死に物狂いでおたすけに奔走した」という話が、ありありと書かれています。

私は20代の頃からこの本を折りに触れて読ませてもらい、親々が通ってくれたからこそ、今があるのだと心から感じています。

実は夫との出会いのきっかけも、夫が布教の家愛知寮の寮生だったことにあり、こうして本愛大教会でお話させていただけることを嬉しく感じています。

さて、現在、御空分教会では地域における活動も進めています。教会を会場にして、こども食堂や学習支援、子育て講座などを開催し、地域の居場所づくりを

させていただいています。そのほかにも、食育イベントや防災学習なども開催しています。また、保護者向けには不登校対応講座というものも開催しています。

子供たちに、いろいろな体験を通して「生きる力」をつけてもらいたいというのが活動の思いです。

こうした活動を続けるようになってから、さまざまな方が教会にお越しくださるようになりました。「子供たちのために」という温かい心でつながり、支援の輪が広がっていくことを実感しています。

（連載「現代に生かす『信の生涯』はお休みします」）

続きは YouTube
本愛大教会
公式チャンネルへ

みちのだい
育み塾



御空委員部長
旭和世 先生



※上記のQRコードを読み取って、ご覧ください。
本愛誌の読者限定で公開している動画ですので、チャンネル内の動画一覧からはご覧いただけません。

公式サイトと YouTube をご活用ください！

こんなに
便利



- 大教会の行事日程を確認
- 本愛誌最新号とバックナンバーをダウンロード
- その他お知らせ

楽しく
学ぶ



天理教 本愛 Q 検索

- 祭典の様子をライブで視聴
- 大教会長の連載動画
- 神殿講話の限定配信

教理随想

言わん言えんの理を探る



ことが何より大切です。

＊

立教の時、親神様は教祖の口を通して次のように宣言されました。

我は元の神・実の神である。この屋敷にいんねんあり。このたび、世界一れつをたすけるために天降った。みきを神のやし

長かった夏も

ようやく過ぎ去

り、吹く風にさ

わやかさを感じ

る季節になりま

した。立教にゆ

かりある十月で

す。この旬は、立

教の本旨を胸に

刻んで、人だす

けの歩みを一層

加速させていく

ろに貰い受けたい。

このお言葉の中に立教の

本旨がすべて含まれている

といつても過言ではありま

せん。一節ずつ、分けて考

えてみたいと思います。

親神様は冒頭でまず、自

らが人間を創造した真実の

親であることを述べておら

れます。すなわち、人間が

自分の両親、そのまた両親、

さらにそのまた両親……と遡

っていった先の、一番元の

創造主が親神であることを

「元の神」という言葉で表

現され、「実の神」とは今

人間がここに生かされている

現実、そして生きている

事実を司る存在であること

を示しておられます。

次に「この屋敷にいんね

んあり」とは、教祖のおられ

る中山家のお屋敷こそ、元

初まりにおいて人間を創造

された地点、すなわち「ぢ

ば」が存在する場所であり、

その因縁がある故に中山家

の屋敷に天降ったことを教

えてくださいました。

続いて「このたび」とは、

時間IIタイミングを表し、

人間創造の時から数えて九

億九万九千九百九十九年と

いう、最初に産み下ろされ

た子数と同じ年限が経過し

たのが、ちょうど一八三八

年十月二十六日であること

をご教示くださったのです。

さらに親神様が天降られ

た目的が「世界一れつをた

すけるため」であると明示

されていますが、その奥に

は、人間が陽気ぐらしをす

る目的で創造されているな

ら、現実にはそれができて

いないことへの残念のお気

持ちと、これからは必ず陽

気ぐらしができるように導

いてやろう、たすけてやろ

うとの親神様の親心が溢れ

ているといえるでしょう。

■人間創造と深い関わり

そして最後に、人間創造

の時の母親の魂をお持ちの

中山みき様を、「神のやし

ろ」として貰い受けたいと

家族や周囲の人々に相談を

かけておられます。もちろ

ん教祖の夫・善兵衛様にと

っては寝耳に水の話ですか

ら最初はお断りをされるの

ですが、三日三晩の問答の

末、あらゆる人間思案を断

ち、「みきを差し上げます」

と返答をされてみき様が神

のやしろII教祖と定まり、

この教えが始まりました。

このように考えていきま

すと、立教の元一日は人類

の創造と深い関わりがある

これは、人間の知恵と力で
解明できるものではなく、
人類創造の本当の親のみが
知る真実の話であります。

教祖百四十年祭まで、あ

と三カ月余り。三年千日も

いよいよ大詰めの時を迎え

ました。旬刻限の到来と共

に、この世の表にお現われ

になったお心と、教祖が二

十五年先の定命を縮めて現

身を隠されたお心は全く同

じで、それは、世界一れつ

をたすけたい一条の親心で

す。そのお心に応える道は、

親の言葉を疑うことなく心

底から信じ、教えを定規と

して我が心のほこりを払い

ながら、コツコツと自分に

できる人だすけを実践して

いく努力に他なりません。

いかなる時も目標を失わず、

陽気な心でひながたを歩ん

でいきましょう。

にんけんをはじめとした

るのをやハ、そんな糸

でいるこれがまことや

立教の意義を心に刻み直し 神の心に沿う教えの実践を

【第129回】

- 第154回教会長
資格検定講習会修了者
(令和7年9月16日付)
江口孝治(本愛南)
- 教会長資格検定合格者
(令和7年9月17日付)
江口孝治(本愛南)
- 教人登録者
(令和7年7月25日付)
門田二三美(本理愛)
- 第154回教人資格講習会
修了者
(令和7年9月10日付)
原田哲朗(本晃)
- 8月のおさづけの理拝戴者
松原奏(本耕)
上野孝之助(本孝徳)
加藤輝一郎(本美咲)
- 8月の初席者
桑原怜史(本心)
水谷奈々(本桑名)

信仰の喜び、おたすけの喜びを 教祖のもとへ

うちわけ会 おぢばがえり

強調月間 立教188年11月

本愛大教会一斉団参 11月23日(日)

本則武分教会三代会長
松下きみ子之霊の十年祭
本則武分教会では8月24
日午前11時より、三代会
長・松下きみ子之霊の十年
祭が同分教会で行われた。

大会日誌

令和7年8月25日～令和7年9月24日

8月

26日 本部月次祭

31日 常任役員会議◇役員会議

9月

1日 入社祭

祭主 大教会長 扨者 山神茂彦、松原悟

指図方 青木健裕 賛者 桑子彰、出口順一郎

秋季霊祭

祭主 大教会長 扨者 青木健裕、杉村善男

指図方 安藤正二郎 賛者 津田豊郎、久保真樹

2日 よふき会例会

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主 大教会長 扨者 田中新一、松浦道太郎

指図方 大橋進 賛者 安井篤、大池美公雄

青年会の集い(参加者48名)

講師 青年会本部副委員長・前川治輝先生

14日 布教実修所

17日 こども食堂MOGU

20日 婦人会 みちのだい育み塾

講師 旭 和世先生(川之江支部・御空委員長)

委員部長後継者講習会

女子青年例会